



第44回 愛媛形成外科研修会

抄録集

日 時 令和元年12月7日(土) 17時00分～
場 所 愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂
愛媛県松山市春日町83番地
TEL: 089-947-1111

当番世話人

愛媛県立中央病院 形成外科 中川 浩志

第 44 回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. 参加受付は、16 時 30 分より会場で行います。
2. 参加費として 2,000 円を受付にて申し受けます。
今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。
「領域講習」として受講される専門医の方は受講料として 1,000 円を申し受けます。
3. 演者でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題の発表時間は、一題あたり 5 分、質疑応答は 3 分を予定しています。
5. PC は Windows10、PowerPoint2016 を使用しての発表になります。
(当日は、USB メモリーあるいは PC 本体をお持ちください。)
6. 当日、駐車場ご利用の方は無料ライターを準備しております。
駐車券を受付までお持ちください。

会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 1 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成 10 年 7 月 4 日	15 名
第 2 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成 10 年 12 月 5 日	17 名
第 3 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成 11 年 6 月 19 日	20 名
第 4 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 11 年 11 月 27 日	19 名
第 5 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 6 月 24 日	17 名
第 6 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 12 月 9 日	20 名
第 7 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 6 月 23 日	23 名
第 8 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 12 月 8 日	23 名
第 9 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 6 月 8 日	27 名
第 10 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 12 月 14 日	27 名
第 11 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 6 月 28 日	25 名
第 12 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 12 月 13 日	25 名
第 13 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 6 月 26 日	26 名
第 14 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 12 月 4 日	29 名
第 15 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 6 月 18 日	31 名
第 16 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 12 月 10 日	35 名
第 17 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 6 月 24 日	31 名
第 18 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 12 月 9 日	26 名
第 19 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 6 月 16 日	37 名
第 20 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 12 月 15 日	30 名
第 21 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 6 月 14 日	30 名
第 22 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 12 月 6 日	30 名
第 23 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 6 月 27 日	32 名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 24 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 12 月 12 日	28 名
第 25 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 6 月 19 日	34 名
第 26 回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 12 月 11 日	30 名
第 27 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 6 月 18 日	31 名
第 28 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 11 月 26 日	25 名
第 29 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4 階 末広	平成 24 年 6 月 23 日	34 名
第 30 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 24 年 12 月 1 日	26 名
第 31 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 25 年 6 月 22 日	36 名
第 32 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2 階 楓の間	平成 25 年 11 月 30 日	30 名
第 33 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 26 年 6 月 21 日	32 名
第 34 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カンファレンス会議室	平成 26 年 11 月 29 日	32 名
第 35 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 27 年 6 月 27 日	36 名
第 36 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 27 年 11 月 21 日	27 名
第 37 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階多目的ホール	平成 28 年 6 月 11 日	32 名
第 38 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 28 年 12 月 10 日	30 名
第 39 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3 階中会議室①②	平成 29 年 6 月 24 日	36 名
第 40 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館 3 階研修室	平成 29 年 12 月 9 日	32 名
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	31 名
第 44 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和元年 12 月 7 日	名



愛媛県立中央病院への交通アクセス

住所

愛媛県松山市春日町83番地

電車

伊予鉄道「松山市駅」下車、南へ徒歩800m（約15分）

バス

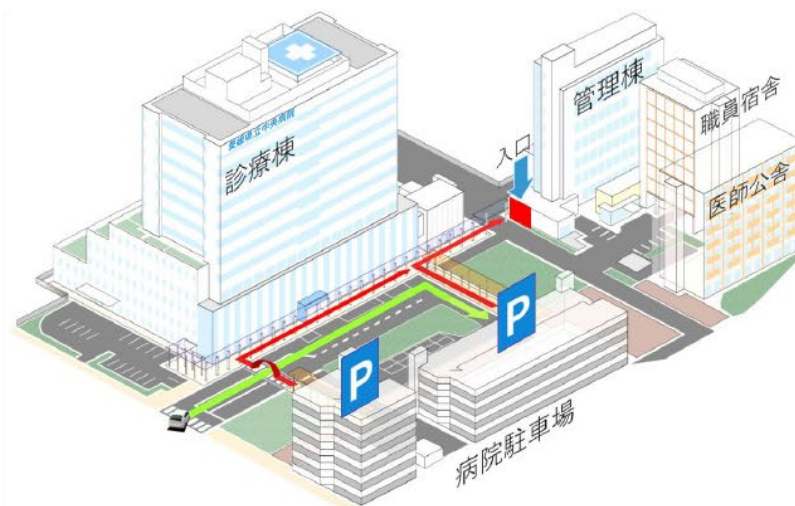
伊予鉄道路線バス「市坪・はなみずき線」「都心循環東南線」で「県病院前」下車すぐ



お車でお越しの方

当院の立体駐車場をご利用ください。

※ 駐車券は、来院時にパス担当者へお渡しください。



プ ロ グ ラ ム

Section I (17:00~17:40)

座長：愛媛県立中央病院 田中 克弥 先生

1. 歯周病を原因として左頬部に蜂窩織炎をきたした1例 (5分)
松山赤十字病院 形成外科 中川 舞 他
2. 中枢神経症状を伴ったフェノールによる化学損傷の一例 (5分)
愛媛県立中央病院 形成外科 土居 未歩 他
3. 小耳症に合併した耳瘻孔症例について (5分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 松本 麻由 他
4. 大伏在静脈採取により下腿切断となった1例の経過報告 (5分)
住友別子病院 形成外科 安井 史明 他
5. 下顎部脂肪腫が疑われた Dermoid cyst の1例 (5分)
愛媛県立中央病院 形成外科 尾崎 絵美 他

Section II (17:40~18:20)

座長：愛媛県立中央病院 石野 憲太郎 先生

6. 下顎歯肉癌の再建症例の1例 (5分)
四国がんセンター 形成外科 中山 盛皓 他
7. Abbe flap と Nasolabial flap を併用し再建した腺様型基底細胞癌の一例 (5分)
HITO 病院 形成外科・美容外科 戸田 皓大 他
8. 甲状腺低分化癌気管浸潤に対する気管再建の1例 (5分)
四国がんセンター 形成外科 川野 貴大 他
9. 当科での悪性黒色腫に対するニボルマブとイピリムマブ併用療法の経験 (5分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 眞田 紗代子 他
10. 乳房インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫 (BIA-ALCL) を疑った2例 (5分)
静岡がんセンター 再建・形成外科 中川 雅裕 他

総会 (18:20~18:30)

休憩 (15分)

特別講演 (18:45~19:45)

座長：愛媛県立中央病院 中川 浩志 先生

「創傷の研究あれこれ：基礎研究、臨床研究から患者さんに還元する」

講師：島根大学医学部附属病院 形成外科講師 診療科長 林田 健志 先生

共催： 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:40)

座長：愛媛県立中央病院 田中 克弥 先生

1. 歯周病を原因として左頬部に蜂窩織炎をきたした1例

松山赤十字病院 形成外科

○中川 舞、庄野 佳孝

(5分)

症例は63歳男性。左頬部を中心に大量の排膿を伴う蜂窩織炎をきたしたため当科を受診した。歯周病とう歯を原因として、炎症は側頭筋の下顎付着部から筋膜に沿って側頭筋上縁まで広がっていた。抗生剤投与と顔面神経を損傷しないようデブリードマンを行い、顔面神経麻痺をきたさず軽快し、植皮を行った。若干の文献的考察を加えて報告する。

2. 中枢神経症状を伴ったフェノールによる化学損傷の一例

愛媛県立中央病院 形成外科

○土居 未歩、中川 浩志、徳永 和代、尾崎 絵美、石野 憲太郎、田中 克弥

(5分)

フェノールは芳香族化合物に分類され、弱酸ではあるが腐食性が強く、接触部位の蛋白変性を引き起こす。広範囲暴露の場合は、経皮的吸収により心室性不整脈や中枢神経破壊作用などが出現する場合がある。今回、工作中にフェノール容器の破損により約9%の化学損傷を受傷したため当院に救急搬送された。中枢神経症状が出現したため挿管のうえICUで管理を行った。この症例につき若干の文献的考察を加え、報告する。

3. 小耳症に合併した耳瘻孔症例について

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○松本 麻由、眞田 紗代子、戸澤 麻美、泉本 真美子、木村 千寿、森 秀樹、中岡 啓喜
(5分)

症例は3歳女児。出生時より左小耳症、耳瘻孔、外耳道閉鎖を認めていた。1歳3か月時から4回耳瘻孔に感染をきたし、近医小児科にて加療されていたが、今後の加療目的に紹介となった。小耳症はlobule type、耳介後方の側頭部に炎症後の色素沈着を認め、耳瘻孔は残存耳介の軟組織に開口していた。全身麻酔下に摘出を行い、耳瘻孔は変形した軟骨に沿って約5.5cm長続いていた。文献的考察を加えて報告する。

4. 大伏在静脈採取により下腿切断となった1例の経過報告

住友別子病院 形成外科

○安井 史明 長谷川 雄大
(5分)

CABGの合併症には重篤なものが多く、グラフト採取部の合併症は軽視されがちである。PADの合併のため下腿切断へ至り、なおも残った難治性潰瘍に対して治療に難渋した症例を経験したが、5か月を経てかろうじて治癒を得た。前回の研修会で相談させていただいた上記症例の経過を報告する。

5. 下顎部脂肪腫が疑われた Dermoid cyst の 1 例

愛媛県立中央病院 形成外科

○尾崎 絵美 中川 浩志 徳永 和代 石野 憲太郎 田中 克弥 土居 未歩

(5分)

症例は 46 歳男性。幼少期より下顎部に腫瘍を認めており、増大してきたため当科を受診した。初診時下顎部に径 10cm 程度の皮下腫瘍を触知し、CT 検査では下顎部の筋層に境界明瞭な腫瘍を認め脂肪腫が疑われた。摘出術を行ったところ、嚢胞状の腫瘍があり病理検査では Dermoid cyst と診断された。術前に Dermoid cyst の診断が困難であった症例を経験したので報告する。

Section II (17:40~18:20)

座長：愛媛県立中央病院 石野 憲太郎 先生

6. 下顎歯肉癌の再建症例の 1 例

四国がんセンター 形成外科

○中山 盛皓、河村 進、山下 昌宏、川野 貴大

(5分)

下顎歯肉癌に対して今回下顎骨と舌に加えてオトガイ部の皮膚も合併切除した症例に対して肩甲皮弁と肩甲骨皮弁、広背筋皮弁の再建を行った。その後二次修正で口唇移動手術を行った症例を経験した。機能的・整容的に比較的良好な結果を認めたのでその治療経過を報告する。

7. Abbe flap と Nasolabial flap を併用し再建した腺様型基底細胞癌 (Basal cell carcinoma, adenoid type) の一例

HITO 病院 形成外科・美容外科

○戸田 皓大、米田 武史、田中 伸二

(5分)

症例は 71 歳男性。1 年以上前より上口唇白唇部に腫瘍形成あり、徐々に増大を認めていた。皮膚生検を施行し、Adenoid cystic carcinoma の診断にて、10mm の Margin をとり筋層を含めて腫瘍を切除した。皮膚・皮下組織欠損に対して、Abbe flap と Nasolabial flap を併用し再建を行った。術後の病理組織診断では、腺様型基底細胞癌 (Basal cell carcinoma, adenoid type) の結果であった。その治療経過を報告する。

8. 甲状腺低分化癌気管浸潤に対する気管再建の 1 例

四国がんセンター 形成外科

○川野 貴大、中山 盛皓、山下 昌宏、河村 進

(5分)

症例 76 歳男性。嗄声と甲状腺腫瘍にて前医より紹介。

頸部エコーで甲状腺右葉に不整形腫瘤を認め、細胞診にて低分化癌、PET-CT にて気管・気道浸潤を認めた。甲状腺低分化癌 c T4aN1Mx StageIVB の診断で、甲状腺全摘+気管・輪状軟骨合併切除+食道筋層合併切除を行った。気管の第 1～7 気管輪の部分切除、最大で気管軟骨半周と膜様部の約 8 割の切除を行った。気管壁欠損部位に対し DP 皮弁と大胸筋皮弁での再建術を行ったため途中経過を報告する。

9. 当科での悪性黒色腫に対するニボルマブとイピリムマブ併用療法の経験

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○眞田 紗代子、戸澤 麻美、泉本 真美子、木村 千寿、松本 麻由、森 秀樹、中岡 啓喜

(5分)

2014 年以降、免疫チェックポイント阻害剤が続々と悪性黒色腫に使用できるようになり、2018 年 5 月には根治切除不能な悪性黒色腫に対するニボルマブとイピリムマブ併用療法が承認された。当科ではこれまで 3 例に併用療法を行った。3 例中 2 例が Grade3 以上の副作用を認め投与中止となり、硬化判定はいずれも SD または PD であった。1 例が現在投与中である。治療経過や副作用について若干の考察を加え報告する。

10. 乳房インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫（BIA-ALCL）を疑った 2 例

静岡がんセンター 再建・形成外科

○中川 雅裕、森 裕晃、中尾 淳一、荒木 淳、石井 義剛、伊藤 智之、東堂 暢子、
米沢 みなみ

（5分）

「BIA-ALCL 疑い症例に対する検査アルゴリズム」に則り精査した 2 例を経験したので報告する。（症例 1）65 歳女性。SBI 挿入後 9 年時より再建乳房に腫瘤を触知、徐々に拡大した。精査にて chronic expanding hematoma と診断した。（症例 2）67 歳女性。SBI 挿入と脂肪幹細胞付加脂肪注入後 4 年 8 カ月時に腋窩部の瘢痕が肥厚した。精査により乳癌再発と診断された。今回の 2 例は BIA-ALCL でなかったが、その可能性を考慮しガイドラインを踏まえた対応が求められる。

総 会 （18：20～18：30）

1. 次回研修会の日程

2. その他

休 憩 （18：30～18：45）

特別講演 (18:45~19:45)

座長：愛媛県立中央病院 中川 浩志 先生

「創傷の研究あれこれ：基礎研究、臨床研究から患者さんに還元する」

講師：島根大学医学部附属病院 形成外科講師 診療科長 林田 健志 先生

「創傷」は形成外科医が、他科の医師よりも豊富な知識と経験をもたなければならない領域です。いまだ未解明なことも多い「創傷」の研究領域で、translational な research を行う必要性を、これまでの経験とともに述べます。

略 歴

【現職】

島根大学医学部附属病院 形成外科講師 診療科長

【学歴・職歴】

2002 年 3 月 島根医科大学医学部医学科卒業
2002 年 5 月 長崎大学医学部附属病院 形成外科研修医
2003 年 6 月 長崎市立市民病院 ローテート研修医
2004 年 6 月 熊本労災病院 形成外科医師
2005 年 5 月 松江赤十字病院 形成外科医師
2007 年 4 月 大分中村病院 形成外科医師
2009 年 4 月 長崎大学医学部附属病院 形成外科医員
2011 年 4 月 国立長崎医療センター 形成外科医師
2014 年 11 月～12 月 台湾留学 Kaohsiung Chung Gung Memorial University Hospital
クリニカルフェロー
2016 年 4 月 島根大学医学部附属病院 皮膚科講師
2017 年 6 月 島根大学医学部附属病院 形成外科講師、診療科長

【専門医】

日本形成外科学会専門医
皮膚腫瘍外科分野指導医
小児形成外科分野指導医
日本熱傷学会専門医
日本再生医療学会認定医